



6/25

### JAとの協同組合間提携：埼玉県産米交流会「体験田植え」 田んぼの泥に足をとられながらも 笑顔こぼれる田植え体験

田んぼの水の冷たさと泥の感触を楽しみながら、みんなで列になり一気に田植えが行われました。端まで植えて腰を伸ばせば、目の前に青く輝く苗がみごとに並び、吹き渡る風もさわやか—!



5/16



### 埼玉県生協連 第38回通常総会 組合員のくらしに役立ち 社会的役割の一層の発揮を



新会長理事の伊藤謙一氏

埼玉県生協連を代表し石川会長理事が「100年に一度といわれる不況で組合員の生活と経営環境も厳しい状況。くらしを守る事と社会的役割発揮が強く求められている」とあいさつ。来賓の県民生活部消費生活課の堀内課長、JA埼玉中央会の大家常務理事、埼玉県地域婦人会連合会の藤井常任理事からごあいさつをいただき、議案討議後、全ての議案が承認されました。

### 埼玉県生協ネットワーク協議会全体会(第1回協議会) 学習・交流を大切にしながら 楽しく活動を

59人参加



6/29

新会長の滝澤玲子さん

埼玉県生協連理事より滝澤さんの会長推薦が報告され、拍手で確認されました。滝澤会長は「前会長よりバトンを引き継ぎ、これからも皆さんと仲良く交流し、活動していきたい」とあいさつ。年度の活動のまとめや振り返り、決算・予算等が提案され、総合テーマには引き続き「広く地域の中であらうために」が確認されました。

### 2009年度 第1回県内消費者団体交流会 市町村くらしの会や消費者団体等の 19団体41人が参加

6/17



「消費者行政一元化の到達点と課題～地方消費者行政の拡充を中心に」と題したミニ学習会後、各団体より学習会や施設見学会、消費生活展への参加等の活発な活動が報告されると共に、行政との協働等について意見交換しました。

### 適格消費者団体・NPO法人 埼玉消費者被害をなくす会第6回総会 消費者が主役となる 社会づくりに向けた活動を

6/29



新理事長の池本誠司弁護士

正会員・活動委員等64人が出席。来賓の県民生活部消費生活課の堀内課長より「消費者が安心して生活できる消費者行政の実現にとって、行政と消費者団体の連携が車の両輪と考えます。県民の消費生活の安全・向上を確保し、安心して生活できる社会の実現のため、より一層のお力添えを」とごあいさついただきました。総会は、「2008年度事業報告・決算」と「4人の役員補充」の2つの議案が満場一致で承認されました。

### 第45回埼玉県消費者大会第1回プレ学習会 派遣村から見た貧困の広がり その実態と解決

6/23



143人参加



宇都宮県庁弁護士反貧困ネットワーク代表を講師に学習

「日本中に衝撃を与えた『年越し派遣村』は、格差や貧困の広がりや深さを世間に知らせました」と語る宇都宮氏。ワーキングプア対策やセーフティネットの強化を当面の課題として、反貧困ネットワーク(2007年結成)で貧困を可視化させ、社会的・政治的に問題を解決していく必要性を語りました。

### 畑のがっこう「ジャガイモ収穫体験」

さいたまコープ

「日本を、食卓から元気にしたい。」をテーマに産地との交流や土にふれる体験企画等を行っています。6月20日、JA埼玉中央のご協力により川島町でジャガイモ掘りを行い、35家族138人が参加しました。梅雨の合間の晴れた暑い日でしたが、家族みんなで一生懸命ジャガイモを掘り出し、大きさも形も様々なジャガイモをたくさん収穫しました。



掘りたて、ふかしたてのジャガイモはおいしい～

### 広がる 県内生協の 取り組み



この紙は再生紙を使用しています SOYINKL 印刷は環境にやさしい大豆インキを使用しています。

### “きれい社会へ警告!” 藤田紘一郎氏の講演会

生活クラブ生協

5月26日の講演会は、「私はお腹の中に、カナダ虫を飼って、キヨミちゃんを名前つけて可愛がっています」という、衝撃的!?なお話から始まりました。藤田氏によると、合成洗剤や抗菌グッズ、抗生物質を使い、細菌を排除した「きれい社会」が免疫力を下げ、アトピーや花粉症等のアレルギー病の発症を促進してしまうそうです。化学物質に囲まれた暮らしの危険性を、改めて知る機会となりました。



カイチユ博士の藤田氏

### 第12回「沃土会」春の収穫祭

埼玉県勤労者生協

5月30日、深谷市岡部にある野菜の産直地「沃土会」で、組合員とその家族100人余りが参加し、キャベツ、かぶ、小松菜、レタス、大根など春野菜を収穫しました。沃土会は微生物を利用した自然農法に近い野菜づくりをしている産地です。当日は朝方のどしゃぶりの雨も小休止。片道30分はかかる畑をあちこちサーフィンしながら旬の野菜をたっぷり、楽しく収穫しました。



初の大根収穫体験 3歳の小さな手でがんばりました

### 講演会「母親だからできること」

ドゥコープ

くらし福祉委員会テーマグループ「メンタルヘルス」では、6月10日、コミック「ドラゴン桜」の公式副読本「16歳の教科書」の著者で、花まるグループ代表の高濱正伸氏を講師に講演会を開催し、85人が参加しました。不登校や長期の引きこもりが問題化している現代、原因に「幼児期の親子関係が大きいかかわっている」と高濱氏。子どもへの対応や言葉のかけ方等お話しいただきました。



講師の高濱氏

### ふれあい会館が7月完成! 埼玉協同病院の新診療棟の建設すむ

医療生協さいたま

組合員や職員が集う施設「ふれあい会館」が完成し、1階の会議室では最大400人を収容することもできます。2階には、医療生協さいたまの本部事務所として組合員や職員のサポート機能が集中しました。また、埼玉協同病院の新診療棟は、手術室の拡充をメインに麻酔科外来、化学療法室、食堂等が入る予定で、9月完成をめざしています。11月8日には「建設まつり」も予定しています。



移転新築したふれあい会館

埼玉協同病院新診療棟増築イメージ

### ハッピーミルクプロジェクト モザンビーク現地視察

コープネット事業連合

「ハッピーミルクプロジェクト」は、コープマークの牛乳1本のお買い上げにつき1円をユニセフに寄付し、モザンビークにおける栄養プログラムを支援する、コープネットグループの活動です。昨年度は2,474万5,535本お買い上げいただきました。このプロジェクトの進行状況を確認するため、4月18～25日コープネットから4人が現地を視察。ユニセフ、モザンビーク政府・保健省等の懸命な取り組みに触れ、このプロジェクトへの期待の大きさを実感しました。



「子どもが良く食べるから、家でも作ろうと思うわ」栄養のある離乳食作りのデモンストレーションにて

栄養のある離乳食を試食する赤松理事長

### 生協間の協力・協同 「高齢者専用住宅」建設スタート

さいたま住宅生協

医療生協さいたまの協力を得、「旧浦和民主診療所」跡地に5階建ての高齢者専用住宅(デイサービスと高齢者専用賃貸住宅を併設)の建設を、今年12月の完成予定ですすめています。組合員の健康と医療をサポートする「医療生協」と、快適な住まいと終の住処を造りつづける活動をしている「住宅生協」との、協力事業の一つの形態として期待されています。



医療施設&高齢者専用住宅完成予測図

### 県と連携し不当表示広告を調査

埼玉大学生協・大東文化学園生協・跡見学園女子大学生協・淑徳大学すほ台生協・十文字学園生協

2008年度は新たに3カ所増え、5大学生協と3大学が参加。11月～2月にテーマを決めず幅広い視野で取り組み、結果は報告数146件中、違反被疑数114件。商品別ではダイエット関係が一番多く、美容、身長、豊胸関係が上位を占めていました。参加者は不当広告が身近にあることに驚き「危険性を組合員に発信していきたい」と話しました。

